

「地域で活動している民間団体の紹介2」

前回に引き続き、日ごろ地域で活動している民間団体が加盟している「トキの野生復帰連絡協議会」の中から、両津地区野浦で活動している「明日の・のうら21推進委員会」と両津地区久知河内内で活動している「久知河内ホタルの里づくり」の2団体を紹介します。

トキと共生できる里づくりをめざして

明日の・のうら21推進委員会

代表 白杵 春三

野浦の区民は野生のトキ5羽が昭和56年にいっせいに捕獲されるまで、トキが田んぼでえさを食べているところや群れになつて飛んでいるところをよく見かけていました。

平成12年の秋、里地ネットワークの指導により、地元学調査を実施した時に、佐渡トキ保護会の前会長佐藤春夫先生が野浦の山には野生のトキが最後に巣を造つた松の木があると言つて現地を案内してくれました。これらを契機にトキの野生復帰に向け、トキと共生できる里づくりの住民の気運が高まってきました。

平成14年の初総会で、21世紀



の野浦区民の目指す、里づくりを具体的に推進するために「明日の・のうら21推進委員会」を設置しました。

里づくりの基本方針は第二にトキの野生復帰を目指した環境保全型農業の推進、第二に伝

統芸能の伝承活動を通じて里づくりの推進、の2本の柱をまとめました。具体的には、有機無農薬栽培、減農薬の特別栽培米の推進とトキのえさ場となる「オトトプ」であり、そして野浦伝統芸能伝承館を活用した、芸能の里フェスティバルの開催であります。現在、2セツトで里づくりに取り組んでいます。

ホタルの里づくりをとおして、トキの野生復帰を願う

久知河内ホタルの里づくり

菊池 茂雄

清流を取り戻した久知川にホタルが舞う環境が整いました。

集落の活性化を図るため、ホタルの里づくりを進めてきました。ところ、久知河内のホタル祭り、定着し、島内のだれもが知るイベントになり、島外からも多くの人が訪れるようになりました。私たちにとって大きな自信と誇りになりました。

祭り月間は、例年6月中旬から下旬までの2週間で、特産品の販売、ちようちんの貸し出し、ホタル募金など行っています。



ほかにも特産品として、ホタル米産直、大学生との体験交流を目的とした地元学、休耕田を利用した「オトトプ」づくり、メタカドシヨウウの放流、

「環境保全型農業への取り組み」、更には、冬期湛水(たんすい)水田への挑戦、など、集落の真ん中を流れる久知川流域をもっと活用すると共に「アユマス、ウナギ、ウグイ、ヤサケの湖上(そじょう)する川に還元して、トキの野生復帰に向けた自然とふれあいのできる自然環境広場を提供し、交流人口の拡大、若者の定着できる魅力ある地域として、佐渡活性化のモデルになりたいとがんばっています。

環境保健課トキ推進室

(新穂農業構造改善センター2階)

☎ 22 31111

にいがた緑の百年物語
第33回佐渡地方植樹祭
一般参加者募集!!

日時 10月27日(木)

午前9時～正午

場所

式典会場/アミューズメント佐渡 (はまなすホール)

植樹会場/山田地区内、オトトプ、ク佐和田

募集人数 100名(定員になり次第締め切ります)

内容 緑化・林業・緑の募金功労者表彰、記念植樹等

・雨天決行。雨具等の用意をお願いします。・移植後手、軍手はごちからで用意します。・植樹会場へはアミューズメント佐渡から送迎のマイクロバスが出ますので、そちらへご乗車願います。・参加者には記念品として、ドウタンツツジを差し上げます。

主催 佐渡地方植樹祭実行委員会

詳しい内容および参加ご希望の方は、10月11日(火)までに電話で連絡してください。

問い合わせ・申込み先

佐渡地方植樹祭実行委員会

事務局 市役所農林水産課

農地林政係内 担当 安田・石見

☎ 63 51117